リザーバー留置を受けられる(　　)さんへ　入院中のスケジュールです

説明日(　／　) 説明者(　　)

STP0200230(部分)

月／日	／	／		／	／	／
病日	入院日(治療前日)	治療当日(前)	治療当日(後)	治療後1日目	治療後2日目	治療後3日目
目標	◇治療について理解できる	◇安全・安楽に治療を受けることができる	◇血圧・脈拍・呼吸が安定している ◇穿刺部の出血・血腫を認めない ◇悪心・嘔吐の症状が緩和される	◇創部の感染がない	◇発熱はあるが、コントロールできている	
検査	採血、検尿、胸・腹部レントゲン、心電図の検査があります ※患者さんによってはない場合もあります	検査の順番がきたら、検査室から呼び出しがありますので、それまでお部屋でお待ち下さい。 治療室へはストレッチャーで行きます ※急患の対応等により、順番が前後することがあります。				
処置	足から管を入れるため、鼠径部の剃毛を行います。	点滴の針を左手に挿入します。 術衣と専用パンツに着替えます。 足の甲の動脈に印をつけます。 弾性ストッキングをはきます。				
注射		500mlの点滴が3本あります。				
内服薬	飲んでいるお薬を確認します	指示された内服薬は朝6時に服用してください。 (内服自己管理の方：内服しないお薬は看護師が全てお預かり致します) 治療前に、緊張を和らげる薬を飲みます	食事が開始されたらいつも通り薬を飲んで下さい			
栄養	通常通り食事ができます。	起床時(朝6時)にカロリーメイトゼリーがあります。 朝から絶食です。 ※治療時間により昼から絶食のこともありますので、看護師の指示に従って下さい。	指示があるまで絶食です。 ※治療後に、医師より指示が出ます。 水分摂取が可能になったら、多く飲んでください。 ※造影剤を早く体の外に出すためです。	通常通り食事ができます。		
清潔	入浴できます。	術衣と専用パンツに着替えます。 弾性ストッキングを履きます。 足の甲の動脈に印を付けます。	入浴・シャワー浴は出来ません。	体拭きをします	シャワー浴ができます	
排泄	便が出ていない方で、気になる方は申し出て下さい。	治療前におしっこの管を入れます。	安静介助時におしっこの管を抜きます。			
活動・安静	安静制限はありません。	なるべく安静にされて下さい。 トイレなどは、歩いても構いません	治療後に安静度が決まります。 医師の指示に従って下さい。			
安全	転倒転落の危険度の評価を行います。 スリッパではなく運動靴の使用をお願いします。ナースコールとベッド柵を設置します。		発熱・疼痛などの症状の際は、転倒しやすいので気をつけましょう。			
患者様及びご家族の方へ説明　生活指導　服薬指導	医師より治療の説明があります 看護師が病棟設備や検査について説明します 薬剤師が飲んでいるお薬の確認をします 何かご不明な点がありましたらお尋ねください	治療に行く前に、貴金属(時計、指輪、ネックレス、めがね、コンタクト)などを外して下さい。 また化粧やマニキュアも落として下さい	治療後、穿刺部の痛みや腫れがある場合は、すぐにお知らせ下さい。			

注1　病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくに従って変わることがあります。

注2　入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院　消化器内科　東棟10階病棟

2023年8月改訂